

。 CAFE BALCONY CAFE

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 26 年 2 月号 (第 45 号)

寒い毎が続きますね。
風邪、インフルエンザが流行しています。
ノロウィルスも。猛威を奮っています
手洗い、うがいをしっかりしましょう。
桜の便りもちらほら、春はもうそこまで来ています。



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



年末年始。メンバーの 2013 年、2014 年。

メンバーから年末年始の休暇について一言ずつコメントしてもらいました。

○お正月は遊びに来た姪っ子たちと今ハマリ中というトランプと一緒に楽しみました。
今年は地活でもっとみんなとの共同作業への参加を増やせるよう頑張りたいです。

J. Y.

○職業訓練校を終了しました。新宿に 3 か月、体調を整えてみなさんの支えもあり、通えました。
新宿では毎日ラーメンを食べられて楽しかったです。
今年は禁煙（無理かも）できればいいかなと思います。

T. I.

○お正月休み。私は母と姉の三人で 1 月 3 日に千葉神社に初詣に出かけました。千葉神社はとても混雑していたので遠くから拝みました。
神社内に入れず残念でしたが千葉神社は近場なので、また機会があればお参りしようと思います。

I. T.

○年末年始にかけて、五年に一度くらいの手ごわい風邪をひいてしまい、風邪を治すという気持ちに集中していたので、外で行われている楽しげなイベントはいっさい頭の中に入れなかった。地活スタッフの T さんがやめてしまったのも大きな出来事。T さんは細かい気遣い気配

りができる人なので、僕の中でいたいという気持ちが残る。リーダーの石川さんが入院手術した時、スタッフのTさんの負担がグッと増えたのは僕も気づいていて、そのTさんに対して自分が何にもしてあげられないことがもどかしかった。

もう一つ。12月年末にかけて自分にとって大事な音楽家がなくなることが多くて、そのニュースを知るたびに、自分の心の中にポッカリ穴があいたようだった。年末年始にかけて色々なことがおこったけれど、すべてのことが今後プラスになるように、今以上の努力が出来ればいいと思う。

J. M.

○年末の休みは、母とおせちを作りました。私は田作りと松前漬を作りました。

S. S.

○あけましておめでとうございます。旧年中はお世話になりました。

本年もよろしくお願いいたしますとともに、じぶんにとっても飛躍の年にしたいと思っております。

S. H.

○今年も良い年にしましょう。みんなで茶の間を盛り上げていきましょう。

K. T.

○あけましておめでとうございます。今年はモチをいっぱい食べました。太らないようにします！

A. K.

○実家に帰り幼い甥と姪に癒されました。今年も頑張れそうです。

M. K.

○友人とラグビー観戦へ行ってきました。ラグビーに詳しくない自分でも、友人の詳しい解説で楽しめました。

S. S.

○今年地活に専念したいと思います。

松山

○来年はもっと大人になろう。

K. Y.

○年始は神社に行きお祈りをしました。言葉は内緒ですが、みなさんの幸せを祈っています。

高橋秀明

○年末年始は普段より忙しかったような気がします。疲れました。今年気力体力ともに上昇させたいと思っています。

石川良

○去年は、初詣に行ったり、父と銭湯にに行ってきました。まあまあ充実していました。

S. S.

○去年は、地活にこれなかったもので、今年こそは地に足を固めたいと思います！頑張ります！

松山賢吾



那須高原温泉旅行

参加者の人からインタビューしてきました。

○お天気もよく皆さん参加され、みんなの行動が見られたのが楽しかった。

M. Y.

○1 泊バス旅行について

風呂は7回も入ってしまいました。

ご飯もお膳で、カラオケ歌い放題で楽しかったです。

ハプニングもなく楽しくやれたのが良かったです。

T. S.

○非日常の世界に（自然に）バスに乗って移行し、温泉につかりハッピーでした。

Y. K.

○みんなのユニークなコメントは楽しめた

K. F.

○温泉につかりのんびりできて久しぶりにリフレッシュした。

T. K.

○3回もお風呂につかり気持ちよし、みんなの部屋に自由に出入りして楽しかった。

K. U.

○足の痛み癒され自然が気持ちよかった。温泉を自宅に引きたいと想った。

A. Y.



1/19 メルシーCUP（フットサル）

○日曜日、久しぶりの早起きでポートスクエアへ。バルサと合同で、ビギナーリーグで出場。

4試合に出場。残念ながら1敗してしまいました。けれど結果は2位。2勝1敗1引き分けですごく良かったです。私は初参戦で、自分の体力のなさをとても感じました。7分間走り続けるのがこんなにキツイとは思っていませんでした。もっとスタミナのある人になりたいのでこれからの目標が見えてきてよかったです。

フットサルは楽しいので続けていきたいです。

S. S.





メンバーの寄稿文

○「祭司的自戒」

その朝ぼくたちはコーヒーを飲んでいた。

雪、……？昨日までの見慣れた町が一面真っ白な雪に覆われる日、ぼくたちは目を疑ったりしないで目の前にある風景とその変質とともに啞然として凝視めている。そういう日はひとつのけれども平坦でどう仕様もない退屈した姿をぼくたちに見せる。

けれども本当のところはぼくたちの一種完璧な精神の実体が世界を変えて、自分自身を表現している内面性のけれども本当のところはぼくたちの一種完璧な精神の実体が世界を変えて、自分自身を表現している内面性の出来事とともにあって、僕たちはその一面の雪の世界を見ている。

そのときぼくたちは目の歴史、風景の歴史、感性の歴史が冬の日のささくれた舌を引き摺って、心の中で奇妙な音階の世界性を作ってそこに実在させているみたいだと想う。

人々は同じ風景を見ていても同じ思いを繰り返すことはまれであるし、あるいは同じ風景を見ていればこそ、自分とその周りにいる存在とは、別個の運命を抱いているみたいな切羽詰まった了解性の事実あるというふうであるけれどもぼくたちはこの雪のなかの独自のイメージの方が、それを凝視しているぼくたちの存在の重さよりも重いと感じるかもしれないし、それ故に他者に対しての模範的な虚構と試みから自由であると感じているのいるのである。つまりぼくたちはぼくたち自身を運命の関係として視界の雪とそのイメージをとおして受け入れているかたちには変わりはない。

あの日ぼくたちが個体制と内面的な音階を喪失する蝶の道に行くものは、どういう悲しみがあってどういうハスキーな物語であるだろうか。これはぼくたちの運命からの問いかけであって、ことばとして、文芸としてしか感じられないし、そう考えることで厳しい戒めも大きい収穫を上げることもできるのだ。

ぼくの唇の上には雪の淡く軽い半透明な恥辱のにおいが残ったのであった。まるで推薦を抱きしめた紅い北斗みたいに。

自分自の均整の上で爆睡する祭司、超祭司奴。ぼくたちはあなたを乗り越えるために詩と幻想によってあなたの中で生きる他はないのだろうか。ぼくたちは一人一人あなたの奥深い眠りのなかの夢となって生活する精霊の森であった。

2014年1月21日

T. N.



私の目標（メンバーの寄稿文）

私の最大の目標は病気を治して職場に復帰することです。

働くには体力が必要ですので私は車椅子で外に出て体力をおとさないようにしています。

あと私はビーズを作っています。ビーズ作りは作業療法になると勧められて始めました。

最初は姉にビーズの作り方を教わりネックレスを作っていました。その後は自分で工夫してネックレスやストラップなど作っていました。メンバーの方にもビーズの作り方を教えてもらいました。

私はバルコニーからお茶の間に移動しました。

茶の間のほうでビーズの先生がいらっしやることになりました。私はビーズ教室で教わるのが初めてなのでとても楽しみでした。実際に習ってみるととても役立ちました。ワイヤーのリングの作り方を教わりました。私はワイヤーのリングをたくさん作りました。

先生にコイルのテクニックを教えてくださいました。コイルのテクニックは奥深いものがあり、色々と工夫のしがいがあります。

図書館のビーズの本にもビーズのコイルのテクニックが紹介されてます。でも本で学べることには限界があります。

ビーズの先生にじかで教えてもらおうと本では理解出来ない技術も理解できて嬉しいです。

ビーズの先生はとても親切ですごくセンスの良いビーズを作っています。

ビーズの先生は美しいデコパージュも教えてくださいました。

皆様もビーズかデコパージュか習いたい方はぜひ教室にいらっしやってみてください。

私はビーズを作り続けて手先を動かしたりしました。

私はビーズ作りは作業療法になってると思います。

私は運動したりビーズを作り手先を動かしたり茶の間の皆様とお話ししてリハビリして職場に戻れるように頑張ります。

いつもご親切にして下さるバルコニーと茶の間の皆様いつもありがとうございます。

I. T.



損保ジャパン様よりカフェ・バルコニー用の車を 寄贈して頂きました。

スズキ軽自動車購入（損保ジャパン記念財団100万円助成）

株式会社損害保険ジャパンが出損している公益財団法人損保ジャパン記念財団は、2013年度自動車購入助成金として、障害者に対する福祉活動などを行う10団体を対象に1件100万円を上限に、合計1000万円の助成を行ないました。

カフェ・バルコニーの家は、10団体の1つに選ばれました。100万円の助成金を基にスズキ自販千葉にて、117万円の軽自動車を、購入しました。1月25日に納車されました。2月からフットサルの試合、畑、イベントなどで皆さんの足となり、活躍することでしょう。

真砂の地域活動支援センターの駐車場に私はいます。私の名前を付けてください。私を洗って、（洗車・掃除機掛け）くださった方は石川さんを通して、NPO 基金から薄謝が出ますよ。いつまでも大切にかわいがってくださいね。



カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、平成 25 年 4 月より、毎月第 1 土曜日 10 : 30~14 : 30、家族会を開催しております。
次回は 2 月 1 日(土)の予定です。参加費用は無料です。
お問い合わせ・出席申し込みは、事務局(石川)まで
○電話 043(441)3193 090-8462-7460
2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 25 年度賛助会員を募っています。入会金 2.000 円 年会費 3.000 円(1口)です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。
年会費は 1,000 円からです。(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家) 振込用紙は各郵便局にあります。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参いただいても結構です。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
(体験料 1日 200 円)
5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。
(調理実習が免除されます)
6. ボランティアさんを募集しています。
レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。
(問合せは 043-377-3502 簀下、043-441-3193 石川まで)
7. ご支援ありがとうございました。
布施貴良様 賛助会員(3口)

<カフェ・バルコニーの家 通信 第 45 号 02 月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簀下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp